



日の出町地域公共交通計画

概要版



西東京バス つるつる温泉線・松尾線
トレーラーバス

平成 30 年 2 月
日の出町



おでかけ支援 ドリームカー



高齢者外出支援バス さくら号



児童輸送用車両運行業務
(レインボーカー)



町内循環バス
「くろ〜ん500」

はじめに

●計画の背景及び目的

日の出町では、住民の生活様式や生活圏の変化、高齢化の進展等の背景を踏まえ、町民の移動を安全かつ円滑に行うとともに、その運行が効率的に行われ、今後も維持できるよう検討を行っています。本計画は、現状の交通機関の利用状況及び問題点を整理し、上位・関連計画との整合を図りながら、策定するものです。

●計画の位置づけ

本計画は、「地域公共交通の活性化及び再生の促進に関する基本方針」に基づき、町内の地域内及び町外との生活交通ネットワークのあり方の考え方や方向性を明示し、「住民の移動手段確保」及び「人の交流の活性化」に寄与する地域公共交通の確保維持のために、具体的な施策内容を定めることを目的として策定します。

●計画の区域と期間 日の出町全域/平成 30 年度から平成 34 年度までの 5 年間



日の出町「ひのでちゃん」

●日の出町の現状

地勢 日の出町は、都心から約50km圏内に位置し、山間部と住宅地が混在し、人と自然が調和した緑豊かな町です。町の西側に町名の由来となった日の出山（標高902m）がそびえ、豊かな自然に恵まれています。面積の7割を森林が占めており、自然を活かした観光資源が豊富にあります。

人口 日の出町の人口は、平成17年以降は増加しており、平成27年には17,446人となっています。高齢人口が増加しており、平成27年は全体の35.3%（6,167人）となっています。

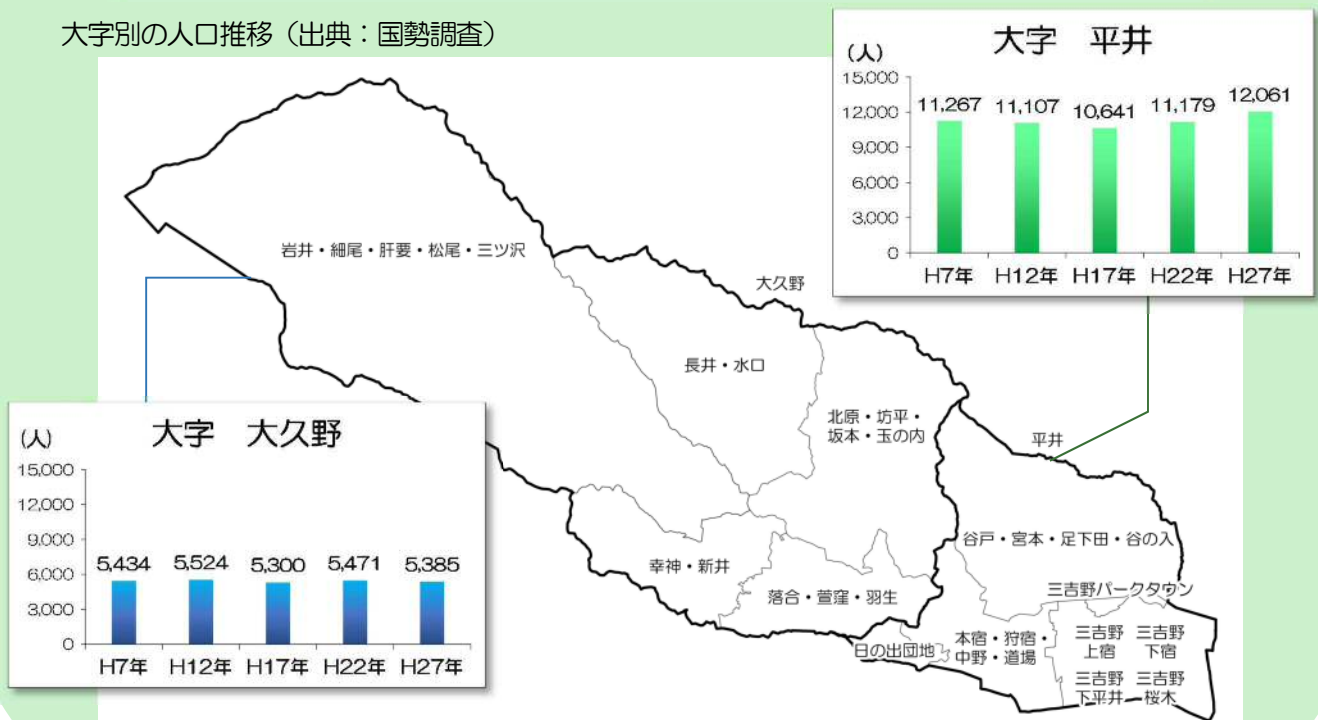
大字別人口では、大字大久野、大字平井ともに人口変動は小さく、大字大久野では5,500人前後で推移しています。また、大字平井は、11,000人前後で推移しています。

人口の将来展望 国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、日の出町の人口は2060年には8,409人になるとされていますが、日の出町の人口の将来展望としては人口減少抑制により13,600人としています。

町全体の人口推移（出典：国勢調査）



大字別の人口推移（出典：国勢調査）



●公共交通の現況

日の出町の公共交通の現況を表すと、下記ようになります。

●路線バス

路線バスは、西東京バス株式会社により 15 の系統が町内を運行しています。経路は周辺の鉄道駅である武蔵五日市駅、福生駅、秋川駅等と町内を結ぶ路線が中心となっており、その他イオンモール日の出、阿伎留医療センター、つるつる温泉等の町内および近隣の主要施設を起終点とした経路も運行しています。



●町内循環バス「ぐるり～ん日の出号」

平成 20 年度より、通学アクセスや生活アクセスを目的として運行しており（平日のみ）、西東京バスへ運行委託をしています。利用対象は日の出町民に限定しており、町民は無料で乗車することが可能です。経路は、つるつる温泉と阿伎留医療センターを起終点としており、1 日当たり 7 本が運行しています。（総延長約 27 km）年間利用者は、平成 26 年度をピークに、以後減少傾向にあります。

●高齢者外出支援バス

高齢者が町内の日常生活に必要な場所に外出する支援を目的として、運行しています。

運行の経路は、各老人福祉センター等を基点とし、町内 4 コースを（平日のみ）、約 1 時間の所要時間で運行しています。60 歳以上の町民を対象としており、無料で利用することが可能です。

平成 28 年度の年間の利用者は、約 46,700 人となっています。



●おでかけ支援ドリームカー

主に下肢等が不自由で外出が困難な 65 歳以上の町内在宅高齢者、身体障害者手帳所持者、愛の手帳所持者を対象として、事前予約制の外出送迎支援を行っています。

平成 28 年度の利用者数は、690 人となっています。

●児童輸送用車両運行業務（レインボーカー）

平成 18 年度より、町内 3 小学校の小学校 1 年生を対象として、安全な下校を確保するため、輸送用車両を運行しています。距離等を考慮して利用決定された児童が利用できます。近年では毎年約 30 人の利用があります。

●路線バス、町内循環バス「ぐるり～ん日の出号」、高齢者外出支援バスの重複状況



●アンケート調査結果の概要

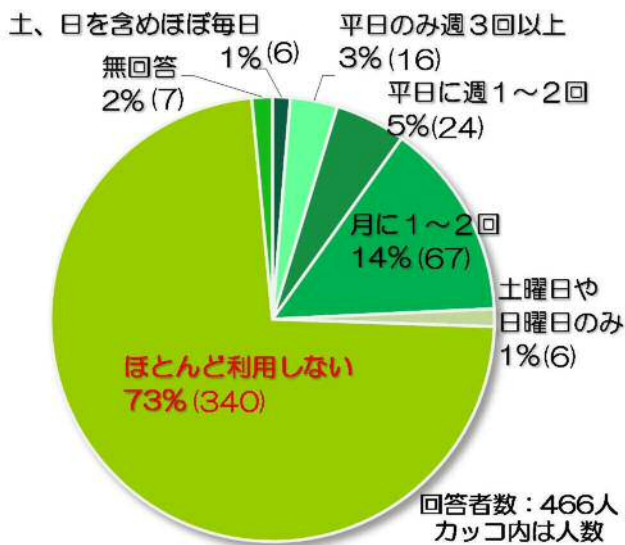
本計画の策定にあたり、日の出町民に対するアンケート調査を実施しました。公共交通の利用実態に関する主な結果を、下記のように整理することができます。

- 実施方法：調査票を郵送配布し、調査の主旨を案内し、回収
- 回答期間：平成29年11月10日（金）～12月18日（月）
- 対象者数：無作為に抽出した日の出町民1,000人のうち、郵送記録の確認がとれた990人*
- 回答者数：466人【内訳 男性200人（43%）、女性245人（53%）、無回答21人（5%）】
- 回答率：47%（466人/990人×100%）

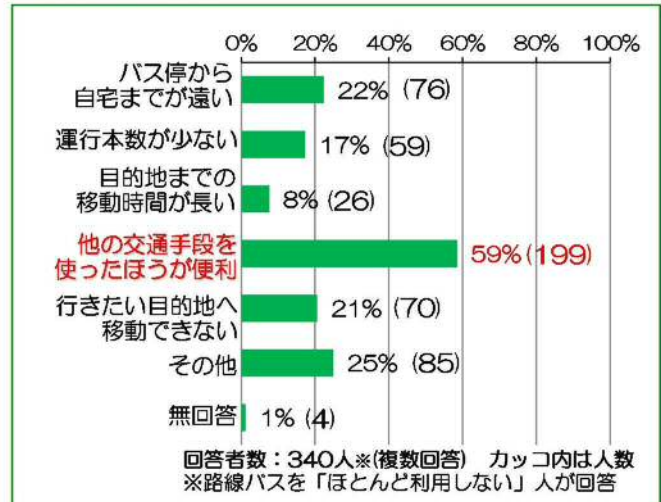
※16歳未満及び特別養護老人ホーム、介護保険施設等入居者は対象外

●路線バスの利用実態

【利用頻度】

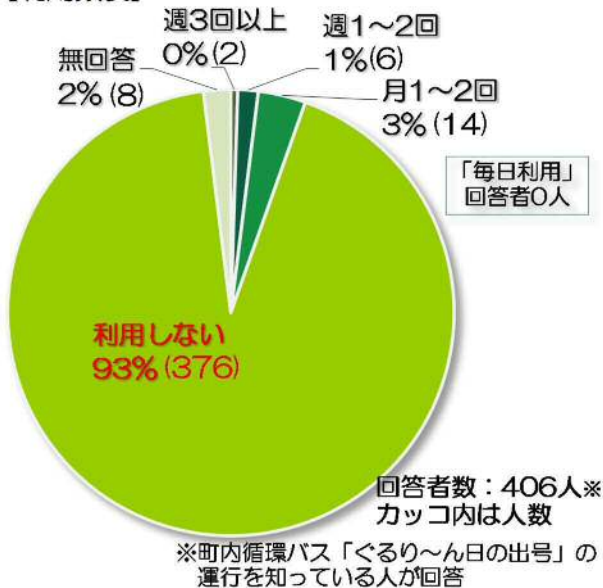


【利用しない理由】

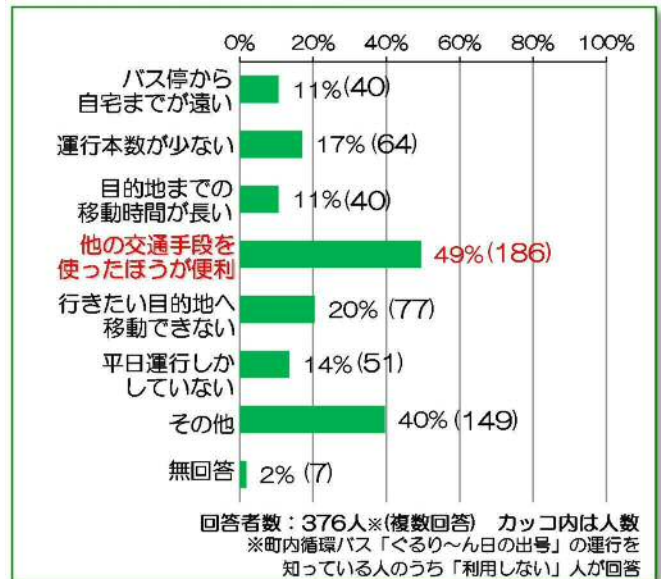


●町内循環バス「ぐるり～ん日の出号」の利用実態

【利用頻度】



【利用しない理由】



・利用しない『その他』の主な回答内容

- ・自家用車（家族が運転する車に乗せて貰うことも含めて）で間に合う（57人）
- ・運行経路や利用対象・方法の内容を把握していない（57人）

●地域公共交通の課題

前掲のアンケート調査、利用実態調査の結果から、公共交通の利用状況やニーズを把握したほか、公共交通を取り巻く課題を下記のように整理することができます。

【地域の現況を踏まえた課題】

周辺JR駅とのネットワーク強化に向けた対応

- ・移動における自家用車利用依存の状況を見直し、移動手段の分散及び選択肢の拡大の必要性
- ・周辺鉄道駅との連絡強化を図り、町内交通システムと既設路線バスの連絡等の再編の必要性

高齢化の進展に向けた対応

- ・今後より進展する高齢化に際し、自動車運転から公共交通での移動の容易性の確保が求められ、高齢者を始めとした交通弱者の移動の利便をより向上させる必要性

【公共交通の現況等における課題】

町内交通システムを利用した町内移動の強化に向けた対応

- ・複数運行している町内交通システムの役割を見直し、利用実態、事業費等の現状を踏まえたうえで拡充、一本化等を図り利便を向上させる必要性
- ・町内に点在する日常利用施設間の移動を容易にするため、既存の町内交通システム間の乗継・乗り換えの利便をより向上させる必要性
- ・町内交通システムを利用した観光拠点間移動の充実を図る必要があると同時に、観光客に向けた施設間移動に関する案内の整備の必要性

公共交通利用促進への対応

- ・高齢者、障がい者、学生等の交通弱者利用時の快適性及び安全性、並びに観光来訪者に質・利便ともに高いサービスを提供する必要性

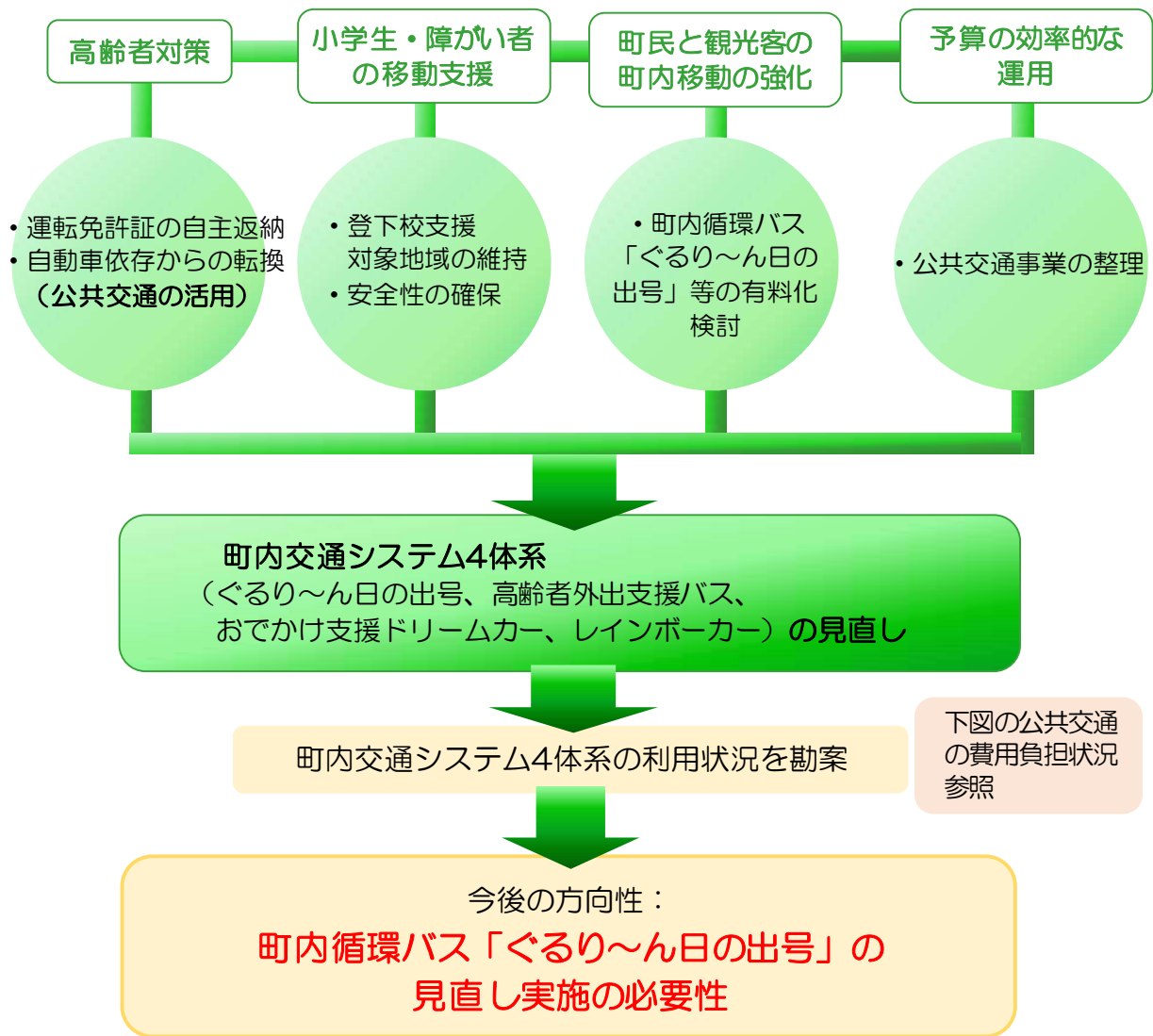
●地域公共交通の役割

日の出町の各町内交通システムの機能と役割を整理すると、下記ようになります。

交通手段	機能	定義	役割
路線バス	幹線軸	周辺都市および町内拠点間連絡の骨格的な路線	通学、通勤、観光などの広域的な移動
町内循環バス 「ぐるり〜ん日の出号」	支線軸	公共交通不便地域の解消を担う路線	通学、買物、通院、観光などの多様な目的に対応
高齢者外出支援バス	補完軸	幹線軸、支線軸を補完する路線	学生、高齢者、障がい者などの交通弱者の移動を支援
おでかけ支援ドリームカー			
レインボーカー			

●地域公共交通見直しの必要性

前掲の課題を踏まえ、日の出町の地域公共交通の見直しのフローは、下記ようになります。



●日の出町運営管理による公共交通の概要と費用負担状況

		町内循環バス「ぐるり～ん日の出号」	高齢者外出支援バス	おでかけ支援ドリームカー	レインボーカー
事業概要	路線延長	27km	45km (4コース計)	既定経路なし 概ね15～20km以内	既定路線なし
	1日当たりの総運行距離	189km	362km	—	—
	本数	7本/日	32本/日 (8本×4コース)	事前予約制のため 既定本数なし	—
	車両数	1台	4台	2台 (車椅子用送迎車)	4台
	事業費(円) ※H28年度	17,012,673	11,972,419※ 補助金額を控除すると 6,019,010	2,544,600	4,556,203
	町民一人あたりの 年間経費(円) ※H27国勢調査人口で算出	975	345	146	261
	利用者一人あたりの経費(円) ※H28年度	1,155	129	3,688	848※
利用実態	年間利用者数(人) ※H28年度	14,727	46,652	実利用者58 延べ利用者690	27
	利用者増減傾向	H26以降減少	ほぼ横ばいで推移	H25以降減少傾向	毎年30人程度

※東京都高齢者社会対策包括補助事業補助金として5,953,409円の補助

※利用者27人×H28運行日数(199日) = 5,373人/年で算出

●地域公共交通の理念と将来像

前掲の地域公共交通の見直しのフローを踏まえ、本計画の理念と目指す将来像を、下記のとおり定めます。

基本理念

町民の生活環境の向上 及び すべての町民と観光客が
町内を移動しやすい地域公共交通整備の実現

公共交通整備における将来像

- 町内の移動がよりスムーズな公共交通利用環境の形成
地区間の結びつきを強め、町民や観光来訪者にとって移動しやすく、分かりやすい公共交通の利用環境の形成への取り組み
- 地域の実情に即した公共交通ネットワークの構築
既存の公共交通利用環境及び町内交通システムの役割分担を明確にし、既存の公共交通体系を最大限に活用し、地域の実情に即した公共交通整備の実現
- 持続可能な仕組みづくりの確立
高齢化・人口減少による利用者減少に耐え、利益を生み出すことが自給自足できる持続可能な公共交通システムの構築への取り組み

●町内循環バス「ぐるり～ん日の出号」見直しにおける今後の方向性

上記の見直しフロー及び基本方針・基本理念に基づき、町内循環バス「ぐるり～ん日の出号」の見直しの方向性を、下記に示す3つのプランを基本に検討していきます。

<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">プラン1</div> 規模縮小 (減便か距離減もしくは両方を取り入れた見直し)	
経路	本数
調査結果に基づき、利用者が著しく少ない区間の削減	調査結果に基づき、利用者が著しく少ない便の削減
料金・利用対象	変更に対する補完
<ul style="list-style-type: none"> ・従来通り無料運行 ・従来通り町民のみ対象 	高齢者外出支援バス、レインボーカーの補完活用


プラン2

運行内容、料金体系の変更

経路	本数
<ul style="list-style-type: none"> 調査結果に基づき、現行ルートを分割 日の出町役場周辺で路線バスと接続 	調査結果に基づき、利用者が多く見込まれる時間帯に運行
料金・利用対象	変更に対する補完
<ul style="list-style-type: none"> 有料運行へ転換 町民以外も利用可能 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者外出支援バス、レインボーカーの補完活用 個人利用者の補助の検討

プラン3

廃止を含め、他の交通システムによる代替

料金・利用対象	変更に対する補完
<ul style="list-style-type: none"> 町民以外も利用可能とし、有料 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者外出支援バス、レインボーカーを活用し、ぐるり～ん日の出号ルートの運行経路を補完する内容へ見直し 個人利用者の補助の検討

●町内循環バス「ぐるり～ん日の出号」見直しに向けての課題整理

プラン1における主な課題	プラン2における主な課題	プラン3における主な課題
<ul style="list-style-type: none"> 距離減対象地域における現況の利用者の属性、自家用車所有状況等の把握が不十分である。 本数減を実施した場合、運行時間外の車両の管理・活用法について、委託事業者との調整が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 料金、運行経路、運行本数の変更に関する利用者の不満の解決策及び利用者の新たな要望の対応策が必要である。 有料化に伴い、町内を運行するバス事業者との調整が必要であり、料金設定についても慎重な検討が必要となる。 有料化に伴い、バス停の設置が必要となる。 町民以外も利用可能とすることで、町外利用者への周知、利用促進が必要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 廃止を選択した際は、利用者が不便を感じる場合及び利用者の新たな要望の対応策が必要である。 有料化に伴い、町内を運行するバス事業者との調整が必要であり、料金設定についても慎重な検討が必要となる。 有料化に伴い、バス停の設置が必要となる。 町民以外も利用可能とすることで、町外利用者への周知、利用促進が必要となる。

日の出町地域公共交通計画（概要版）

発行：平成30年2月 日の出町 生活安全安心課 防災・コミュニティ係

〒190-0192 東京都西多摩郡日の出町大字平井2780 電話：042-597-0511（代表）FAX：042-597-4369